

MONEX Global Retail Investor Survey



December 2020

MONEX グローバル個人投資家サーベイ 第 28 回 2020 年 12 月調査

マネックス証券株式会社
www.monex.co.jp

個人投資家の皆様の相場環境に対する意識調査のため、マネックス証券でお取引をする個人投資家の皆様に 2020 年 11 月 19 日～11 月 30 日の期間でアンケートを実施しました。ご回答くださった皆様のご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。
(当社ウェブサイトへの掲載日は、2020 年 12 月 16 日です。)

今回は、グループ会社である TradeStation Securities, Inc. (米国) および Monex Boom Securities (H.K.) Limited (香港) の個人投資家の皆様にも同様のアンケートを行い、個人投資家の皆様の現在の相場観等を「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」としてまとめました。グローバルな意識調査が資産運用の一助となれば幸いです。

「MONEX 個人投資家サーベイ」は 2009 年 10 月より、「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」は 2011 年 6 月より実施しております。

※ 調査について

・MONEX グローバル個人投資家サーベイは、2011 年 6 月～2016 年 6 月までは原則四半期毎、2016 年 12 月より半年毎、2019 年より 1 年毎に調査しております。

・日本限定の個人投資家サーベイは、2009 年 10 月から 2016 年 4 月までは毎月、2016 年 6 月から 2016 年 12 月までは 2 ヶ月毎、2017 年 3 月から現在まで四半期毎に調査しております。

■調査結果の要約

1. グローバル調査結果 調査対象：日本、米国、中国（香港）の個人投資家

(1-1) 世界の株式市場見通し DI ^(注) は日米は横ばい圏も中国（香港）が大幅上昇

各地域の個人投資家に今後 3 ヶ月程度の世界の株式市場に対する見通しを尋ねたところ、中国（香港）の個人投資家は前回調査（2019 年 12 月実施）から DI が大きく上昇しました。一方で日本の個人投資家は前回と変わらず、米国の個人投資家は 1 ポイントのマイナスとほぼ横ばいでした。中国（香港）の個人投資家の DI 改善の背景には 1 年前に比べて米中貿易戦争の状況がやや落ち着いたことに起因すると考えられます。

【世界の株式市場見通し DI】

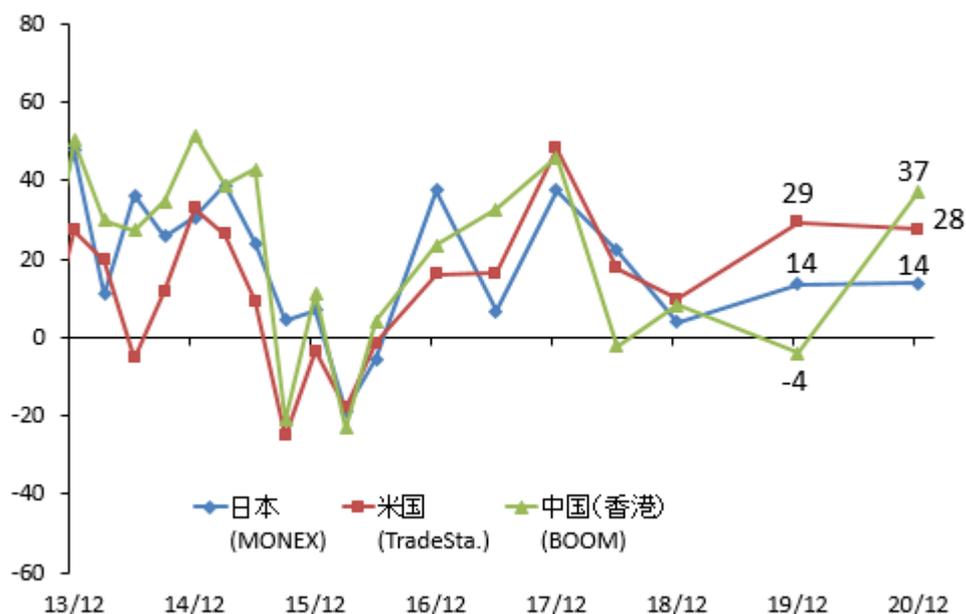
日本： (2019 年 12 月) 14 → (2020 年 12 月) 14 (前回比 ±0 ポイント)

米国： (2019 年 12 月) 29 → (2020 年 12 月) 28 (前回比 -1 ポイント)

中国（香港）： (2019 年 12 月) -4 → (2020 年 12 月) 37 (前回比+41 ポイント)

グラフ：個人投資家の世界の株式市場に対する見通し DI

(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

注) DI (diffusion index)

「上昇すると思う」、「よくなると思う」と回答した割合 (%) から「下落すると思う」、「悪くなると思う」と回答した割合 (%) を引いたポイント

(1-2) 3 地域の個人投資家とも米国への期待が最も高い割合に

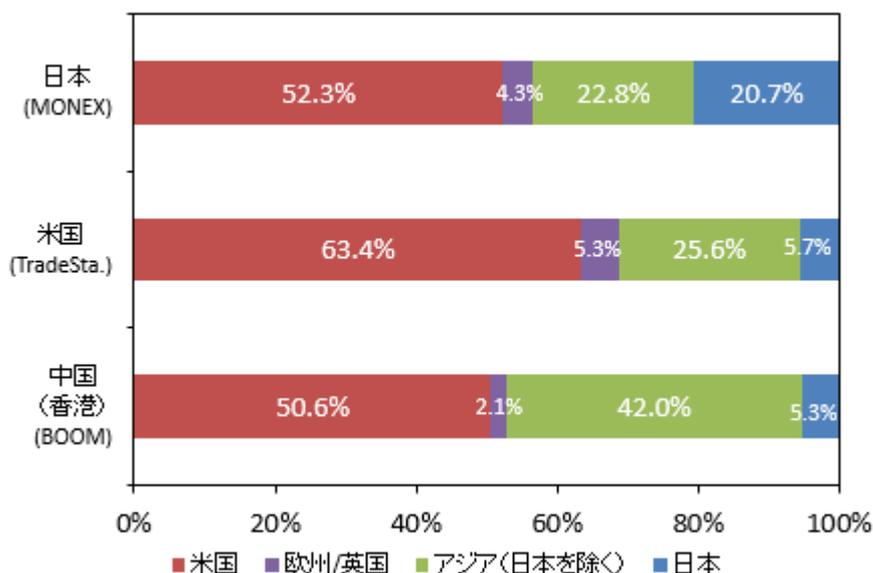
今後3ヶ月で株価の上昇が最も期待できる地域について、3地域の個人投資家とも「米国」と回答した割合が最も高くなりました。新型コロナウイルスの感染拡大が続く米国ですが、今後も株価上昇は期待できると考えている個人投資家が多いようです。

【今後3ヶ月のマーケットへの期待度】

日本	米国： 52.3%、欧州/英国： 4.3%、アジア（日本を除く）： 22.8%、日本： 20.7%
米国	米国： 63.4%、欧州/英国： 5.3%、アジア（日本を除く）： 25.6%、日本： 5.7%
中国（香港）	米国： 50.6%、欧州/英国： 2.1%、アジア（日本を除く）： 42.0%、日本： 5.3%

グラフ2-1: 今後3か月程度で、どの地域のマーケットが上昇すると思いますか

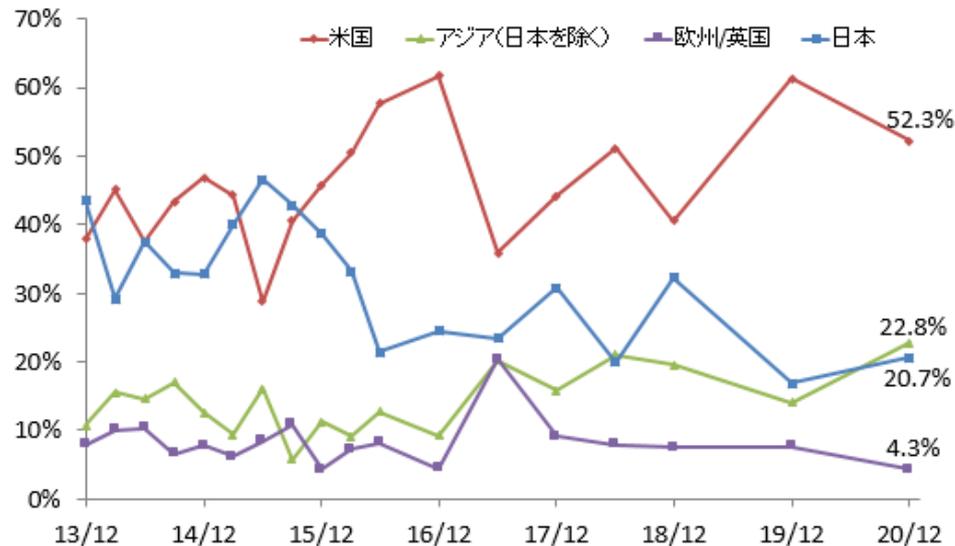
(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

グラフ2-2: 今後3か月程度で、どの地域のマーケットが上昇すると思いますか

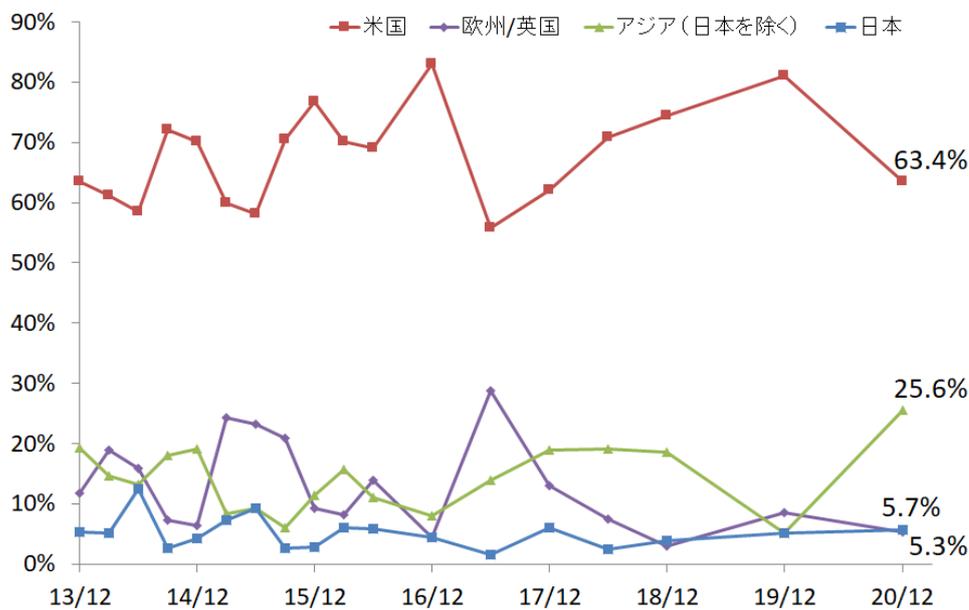
(日本の個人投資家) 推移



(出所) マネックス証券作成

グラフ2-3: 今後3か月程度で、どの地域のマーケットが上昇すると思いますか

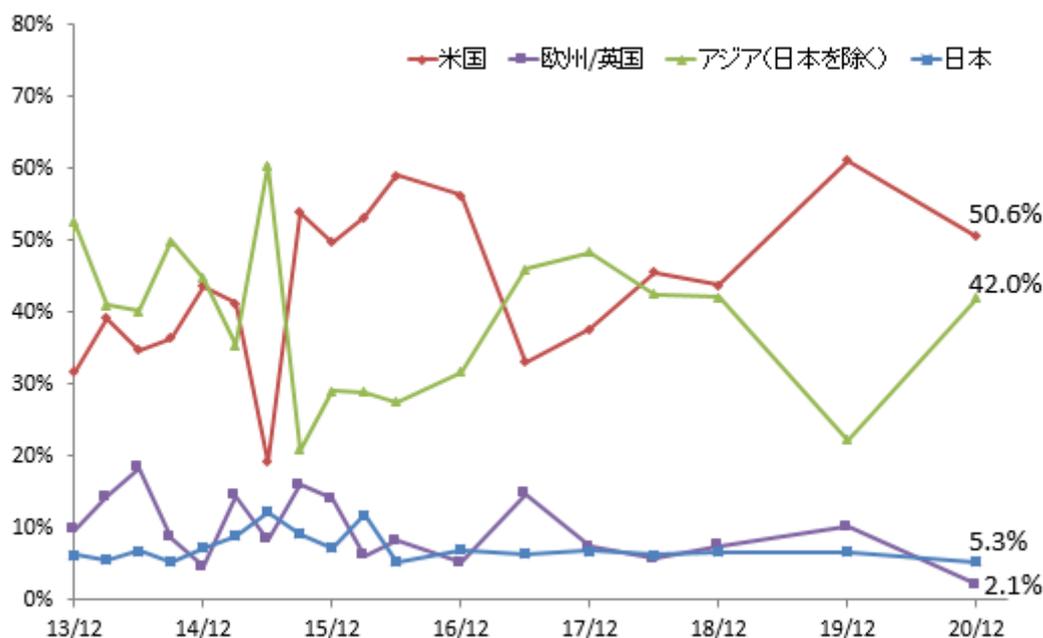
(米国の個人投資家) 推移



(出所) マネックス証券作成

グラフ2-4: 今後3か月程度で、どの地域のマーケットが上昇すると思いますか

(中国(香港)の個人投資家) 推移



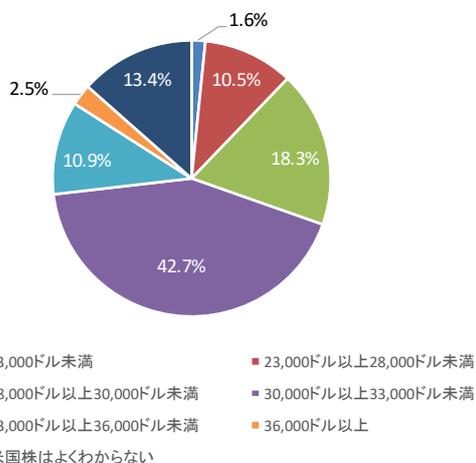
(出所) マネックス証券作成

(1-3) 2021年の米国マーケット予想、各国の個人投資家ともNYダウ平均の高値を30,000~33,000ドルと考える個人投資家が最多

日本、米国、中国（香港）の個人投資家に2021年のNYダウ平均の高値予想、安値予想を尋ねました。各国の個人投資家とも2021年の高値を30,000ドル~33,000ドルと予想した個人投資家の割合が最も高くなりました。一方で安値については日米の個人投資家が23,000ドル以上25,000ドル未満が最多となった一方で、中国（香港）の個人投資家は19,000ドル以上23,000ドル未満が最多となりました。11月末時点でNYダウ平均は29,638ドルであり各国の個人投資家とも一定の調整に警戒しているようです。

グラフ3-1: ダウ平均最高値予想

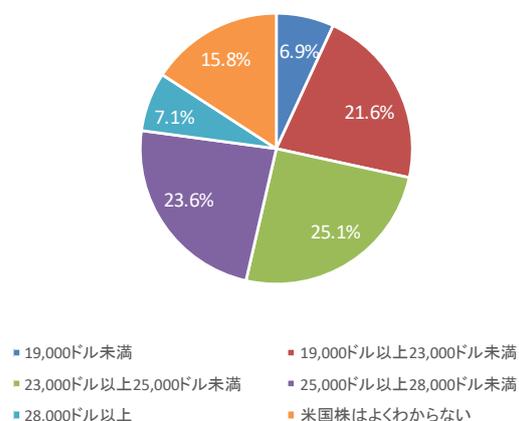
(日本の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

グラフ3-2: ダウ平均最安値予想

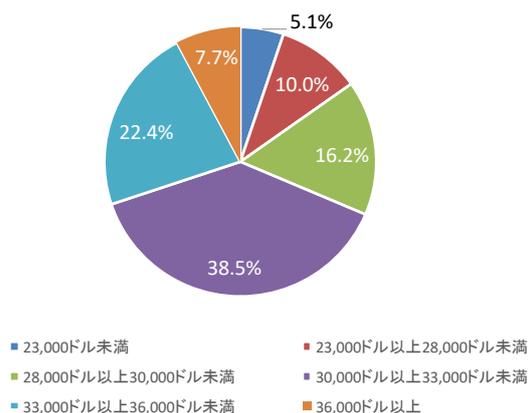
(日本の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

グラフ3-3: ダウ平均最高値予想

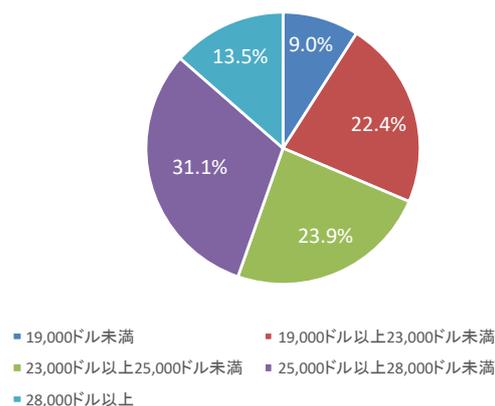
(米国の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

グラフ3-4: ダウ平均最安値予想

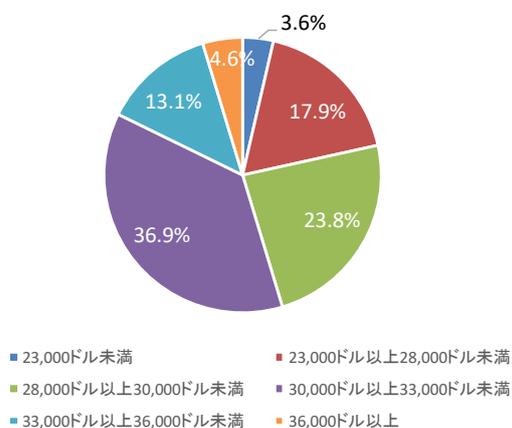
(米国の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

グラフ3-5: ダウ平均最高値予想

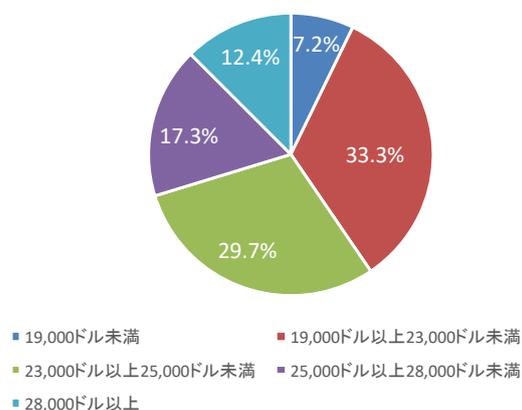
(中国<香港>の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

グラフ3-6: ダウ平均最安値予想

(中国<香港>の個人投資家)



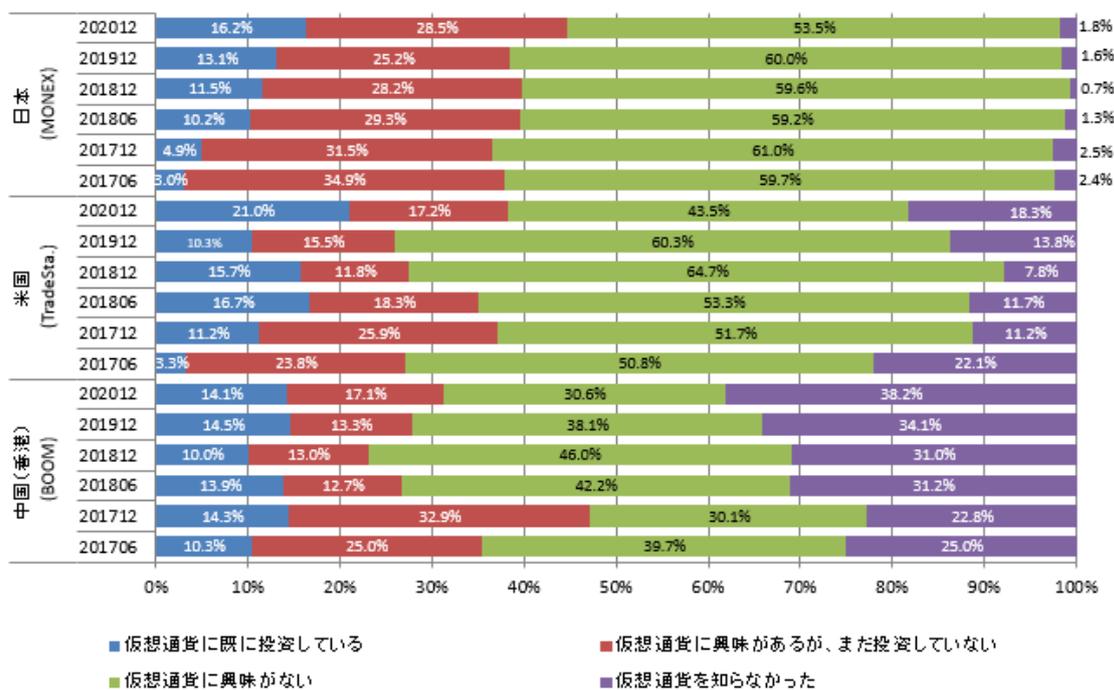
(出所) マネックス証券作成

(1-4) 日本の個人投資家は暗号資産に投資している割合が過去最高に

「ビットコイン」など話題になっている「暗号資産」への投資経験や意欲について調査を行いました。既に暗号資産に投資している個人投資家の割合は日本が16.2%、米国が21.0%とそれぞれ2017年6月の調査開始以来最高となりました。中国（香港）の個人投資家の仮想通貨に投資している割合は前回調査から小幅に低下しています。

グラフ4:暗号資産(仮想通貨)への投資について

(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

2. 日本限定の調査結果 (四半期に1回) 調査対象: 日本の個人投資家

(2-1) 中国株 DI が大幅上昇

日本の個人投資家の今後3ヶ月程度の各国（日本、米国、中国）株価の見通しは、日本株と米国株は低下した一方で中国株は前回調査の9から36に大幅に上昇しました。中国株DIは2020年3月以来の大幅なプラスとなりました。世界各国の中でいち早く新型コロナウイルスの影響による経済の落ち込みから回復している中国株への期待が高まっているとみられます。

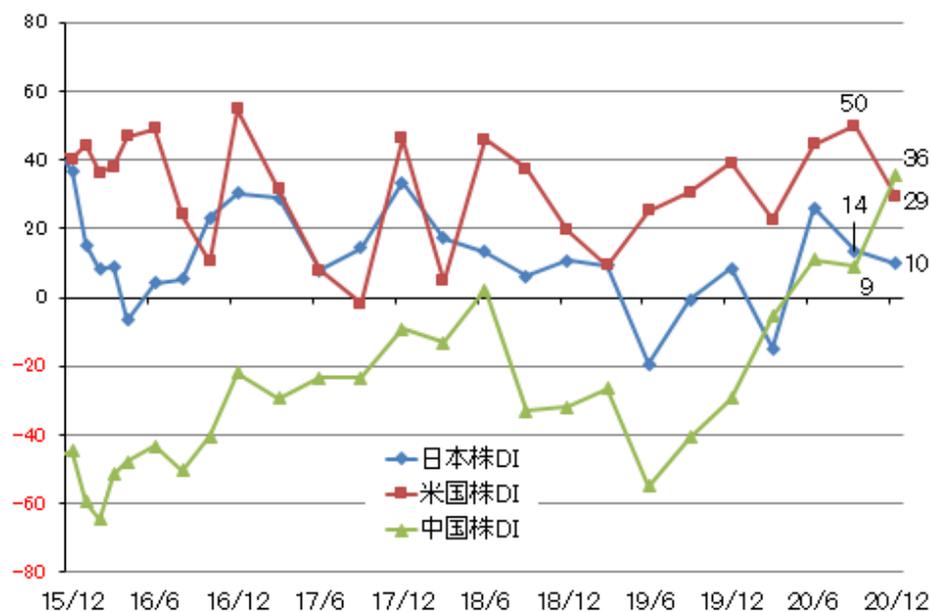
【日本株 DI】(2020年9月) 14 → (2020年12月) 10 (前回比 -4ポイント)

【米国株 DI】(2020年9月) 50 → (2020年12月) 29 (前回比 -21ポイント)

【中国株 DI】(2020年9月) 9 → (2020年12月) 36 (前回比 +27ポイント)

グラフ5-1: 今後3ヶ月程度の株価予想

(日本の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

グラフ5-2: 日経平均株価(終値)と日本株DIの推移

(日本の個人投資家)



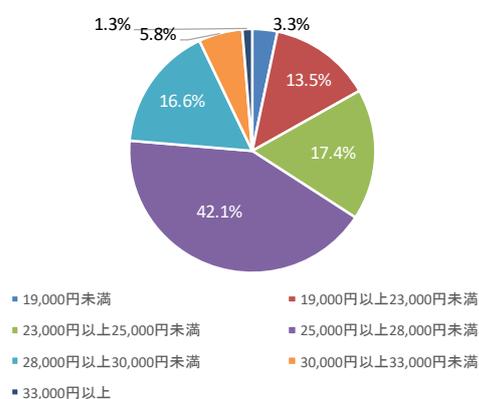
(出所) マネックス証券作成

(2-2) 2021年の株価見通し、日経平均の高値予想は25,000円-28,000円が42%と最多

日経平均の2021年の高値および安値の予想を尋ねました。日経平均の高値予想は25,000円～28,000円が42%と最も多くなりました。安値予想は19,000円～21,000円が32%で最も多くなっています。11月末時点の日経平均は26,433円であり、高値については足元から1,000円程度、安値については5,000円以上と個人投資家は上値については限定的とみる個人投資家が多い一方で、安値については大きな調整を警戒している個人投資家が多いことがわかりました。

グラフ6-1: 日経平均最高値予想

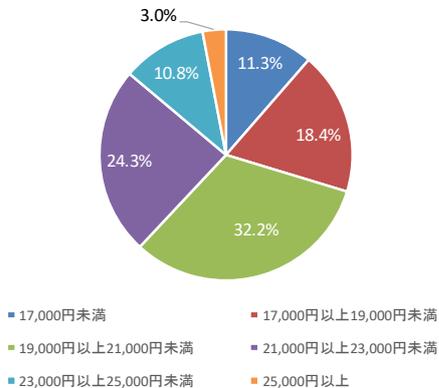
(日本の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

グラフ6-2: 日経平均最安値予想

(日本の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

総括（マネックス証券 マーケット・アナリスト 益嶋裕）

「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」、第28回の結果をお届けします。

2020年は何といても新型コロナウイルスに世界中が翻弄された1年となりました。年明けから徐々に感染の報道がなされていましたが、当初マーケットはリスクを静観しているかのように堅調に推移していました。ところが2月頃から警戒感が高まると株式相場は調整入りし、3月に入ると日経平均株価は一時16,000円台まで下落しました。

その後、世界各国政府による大規模な財政出動や異例の金融緩和政策の効果もあり、株式相場は大きく回復し、NYダウ平均株価やナスダック総合指数は史上最高値を更新しました。日経平均株価もバブル崩壊後の高値まで値を戻すなど、まさにジェットコースターのような1年となりました。

緊急事態宣言や外出自粛など、これまでにないような緊迫した状況のなか、実体経済が大きく後退し、株価も暴落するなど非常に不安な気持ちになられたお客様が多くいらっしゃったと存じます。足元で再び国内の感染者数は大きく増加しており、まだまだ予断を許さない状況ではありますが一部の国でワクチンが承認され接種が開始されるなど、明るい兆しも見えてきています。波乱の多いマーケットを個人投資家の皆様とともに乗り越えるべく来年もマネックスグループ一丸となり、情報発信に取り組んでまいります。

今回も皆様方のご協力で、大変貴重なデータを作成・分析することができました。本当にありがとうございました。今回のサーベイが個人投資家の皆様方の投資判断の一助となれば幸いです。

(2020年12月7日執筆)

■調査の概要と回答者の属性

(日本)

調査方式： インターネット調査
 調査対象： マネックス証券でお取引をする個人投資家
 回答数： 1,006 件
 調査期間： 2020年11月19日～11月30日

【性別】

男性	女性	回答しない
83%	15.2%	1.8%

【年齢】

未成年	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
0.3%	2.2%	9.2%	26.3%	31.3%	22.0%	8.6%

【金融資産】

500万未満	500万～1000万	1000万超～2000万	2000万超～5000万	5000万超～1億	1億超
23.3%	17.7%	18.2%	23.2%	12.4%	5.3%

【売買頻度】

デイトレ	週に数回	月に数回	数ヶ月に1回	それより少ない
4.1%	17.1%	32.7%	28.8%	17.0%

【株式投資のご経験】

1年未満	1年～5年	5年～10年	10年超
4.0%	23.3%	19.0%	53.3%

(米国)

調査方式： インターネット調査
 調査対象： TradeStation Securities, Inc.でお取引をする個人投資家
 回答数： 777 件
 調査期間： 2020年11月19日～11月30日

(中国 (香港))

調査方式： インターネット調査
 調査対象： Monex Boom Securities (H.K.) Limited でお取引をする個人投資家
 回答数： 474 件
 調査期間： 2020年11月23日～11月30日

本情報はグループ各社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・本情報は売買のタイミングなどを反映したものではなく、また示唆するものではありません。
- ・当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・当社は本情報の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・本サーベイは、グループ各社において実施したアンケートの集計結果をまとめたものでありグループ会社間において個人情報の授受は行っておりません。
- ・グラフの数値について小数点以下の計算により、合計が必ずしも 100.0%とならない場合があります。

マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

一般社団法人日本暗号資産取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会